

令和7年度事業計画

本研究所は、平成29年3月に創立60周年を迎え、令和6年度は公益財団法人としての11年目の活動を終える。公開シンポジウムでは「世界」シリーズ第2回が無事終了し、哲学講座についても初夏、中秋を開催し、近く初春の募集が始まる予定である。また刊行事業では2冊のプロシーディング集が完成し、年報『文明と哲学』も年度内に刊行する予定である。

令和7年度においては、これまでの本研究所の公益目的事業を堅実に継続し、設立70周年に向けて、今後の事業展開を検討しながら、事業運営を実施する。

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

公開シンポジウム

連続テーマ「世界」の3回目として、第33回公開シンポジウムを開催する。

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

年報『文明と哲学』第18号を刊行する。

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催（定款第4条第1項第3号）

哲学講座の開講

一般市民、学生、研究者を対象とする哲学講座を、初夏、初秋、初春の3期に開講する（1期6回）。

オンライン講義の開講

役員が講師を務め、一般市民、学生、研究者を対象とするオンライン配信のみの講義を随時開講する。

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第4条第1項第4号）

『所報』第14号を発行し、関係者及び関係団体へ配付する。

ホームページに日常の活動を随時掲載し、SNSによる発信を充実させる。

地下書庫の蔵書について検索機能を備えた公開体制を整える。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待及びワークショップを通しての交流（定款第4条第1項第5号）

哲学系においては、デュッセルドルフ・恵光ハウス、テュービンゲン大学・学際的・間文化的研究センター（CIIS）との連携を継続する。

医学系においては、原則として役員の在籍する国内の大学等と連携して、主にドイツ語圏から研究者を招待し、講演会、シンポジウム等を開催する。

法学系においては役員の在籍する国内の大学等と連携して、主にドイツ語圏から研究者を招待し、講演会、シンポジウム等を開催する。

以上